

1 文章の組み立てをくふうし、中心のはっきりした文章を書きましょう。
2 段落の初めは、必ず一字下げて書き始め、段落ごとに行を変えましょう。

（ ）月 日 曜日

観光客あふれる白谷雲水峡

神山小学校 六年 黒川 竜之介

「たけまーし。

約一年前のことである。五年生の宿泊学習で白谷雲水峡に登った。それは、ぼくにとっ
て初めての山登りだった。たいこ岩という名
前は聞いたことがあったけど見たことがな
かった。入ってすぐ山道を登るのかと思っ
たけどちゅんの木の階段みたいなのがあ
った。登っていくとたくさんの岩にこげが
はえて

いた。上に登っていくにつれて足がパン
パンになっ

ていく。いろいろな杉がはえていて、
いろいろな形の杉があるなあ。と思っ
た。

頂上についた。

大きな岩があった。たいてみるとたいこ
の音かした。たいこ岩から見た景色は木
がとてちゅちゅく見た。そして、とて
も高いところにいるよ。色がちゅちゅか
る景色だった。そして、写真をとりに
下りていく。

No. 1

(不許複製)

3 詩はどの行も三ばんめのマスから書き頭をそろえましょう。
4 書き終ったら、何回も読み直して、まちがいを直したり、書き足りないところを書き足し、むだなところはけずりましょう。



1 文章の組み立てをくふうし、中心のはっきりした文章を書きましょう。
段落の初めは、必ず一字下げて書き始め、段落ごとに行を変えましょう。

（ ）月 日 曜日

と中におもしろい葉っぱがあつて木が
の人にきいたから「ジャンケン葉っぱ」という
らしい。ほんとうに山つておもしろいと思
だ。でもぼくは、一つ気になつたことがあつ
た。木の板でできた道だ。どうして山なのに
木で道を作つていふのだらうと思つた。だが、
その理由はすぐに分かつた。それは、木の根
っこをふまないとめづかしい。山を大切にしてい
るんだなと思つた。
下におりているとトイレがしたくなつた。

でも、トイレはよごれていふへ使いがら
感じた。トイレは、協力金などを使つて、く
み出しを行っている。でもその協力金も不足
している。けい帯トイレの利用者も増えてい
るのかもしれないがやっぱりトイレは必要だ
と思ふ。

そこで考えたのが、山のトイレのくみ出し
や清掃を車門とした仕事をうくることだ。
でも、トイレそうじ車門の仕事をつくるの
はむづかしいと思ふが協力金だけでは限界も

3 時ほどの行も三ばんめのマスから書き頭をそろえましょう。
4 書き終つたら、何回も読み直して、まちがいを直したり、書き足りないところを書き足し、むだなところはけずりましょう。

(不許複製)



- 1 文章の組み立てをくふうし、中心のはっきりした文章を書きましょう。
- 2 段落の初めは、必ず一字下げで書き始め、段落ごとに行を変えましょう。

(月 日 曜日)

くる。

だからこそ、町がトイシろうし専門の人た
たの給料を出す。

今後の、屋久島の観光のことを考えたとき
に、このトイシ問題は重要だ。

もちろん、利用するほくちもトイシをき
れいに使わなければならぬ。

町全体の問題として、みんな協力しあいな
ければならぬと思った。

(不許複製)

- 3 詩はどの行も三ばんめのマスから書き頭をそろえましょう。
- 4 書き終ったら、何回も読み直して、まちがいを直したり、書き足りないところを書き足し、むだなところはけずりましょう。

